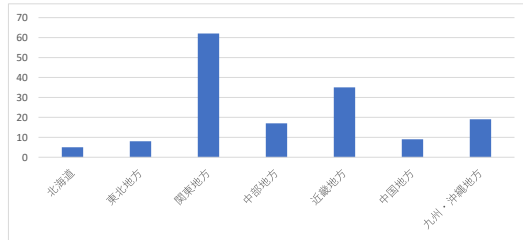


中高対象アンケート：回答総数155名

Q1. アンケートに回答する対象校の所在する都道府県

地域別	回答者数
北海道	5
東北地方	8
関東地方	62
中部地方	17
近畿地方	35
中国地方	9
九州・沖縄地方	19

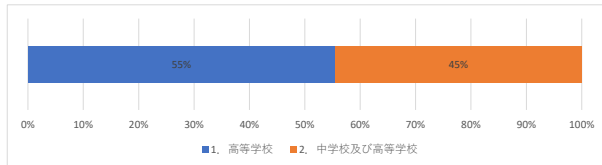


北海道・東北		関東		中部		近畿・中国		九州・沖縄地方	
都道府県	回答者数	都道府県	回答者数	都道府県	回答者数	都道府県	回答者数	都道府県	回答者数
北海道	5	東京都	36	愛知県	7	大阪府	13	福岡県	6
青森県	3	神奈川県	10	静岡県	5	京都府	10	熊本県	4
宮城県	2	茨城県	5	岐阜県	2	兵庫県	8	長崎県	3
福島県	2	千葉県	5	石川県	1	三重県	2	佐賀県	2
岩手県	1	埼玉県	3	長野県	1	奈良県	2	鹿児島県	2
		群馬県	2	福井県	1	広島県	6	宮崎県	1
		栃木県	1			山口県	1	大分県	1
						鳥取県	1		
						島根県	1		

Q2. ご回答いただく対象の設置校をお答えください

選択肢	回答者数	%
1. 高等学校	86	55%
2. 中学校及び高等学校	69	45%

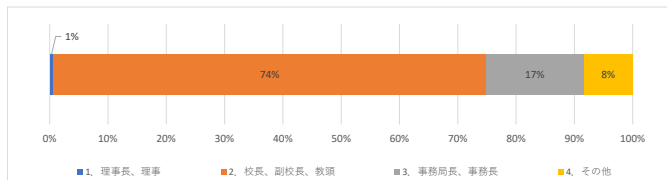
総計 155



Q4. 回答者の役職をお尋ねします

選択肢	回答者数	%
1. 理事長、理事	1	1%
2. 校長、副校長、教頭	115	74%
3. 事務局長、事務長	26	17%
4. その他	13	8%

総計 155



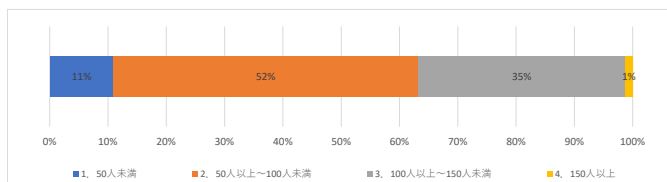
【その他】記載事項（重複削除）

教諭
 事務長補佐
 教務係
 事務職員
 部長
 高校教務主任
 教務部長
 参与
 教務主任
 経理部次長
 総務企画課 課長
 教頭補佐

Q5. 教員数(専任、常勤、非常勤含む)

選択肢	回答者数	%
1. 50人未満	17	11%
2. 50人以上～100人未満	81	52%
3. 100人以上～150人未満	55	35%
4. 150人以上	2	1%

総計 155



1. 授業の代用措置について

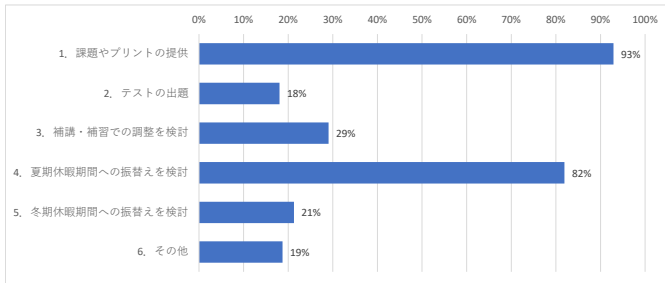
Q7. 通常時の授業に代わる措置の内容【複数選択】

選択肢	回答者数	%
1. 課題やプリントの提供	144	93%
2. テストの出題	28	18%
3. 補講・補習での調整を検討	45	29%
4. 夏期休暇期間への振替えを検討	127	82%
5. 冬期休暇期間への振替えを検討	33	21%
6. その他	29	19%

全回答者数 155

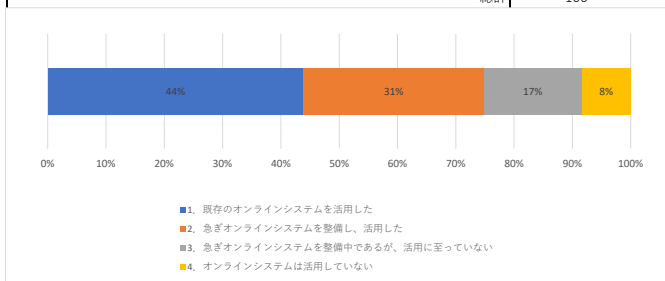
【その他】記載事項（重複削除）

オンライン授業
 秋季休暇期間への付替え
 土曜日授業を検討
 行事縮小・中止を行い、振替えを検討



Q8. 授業のオンラインシステム化の実施状況

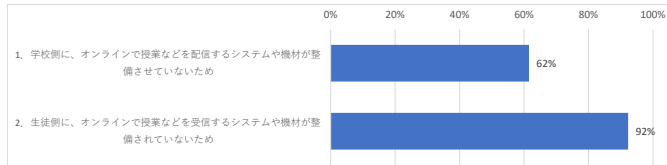
選択肢	回答者数	%
1. 既存のオンラインシステムを活用した	68	44%
2. 急ぎオンラインシステムを整備し、活用した	48	31%
3. 急ぎオンラインシステムを整備中であるが、活用に至っていない	26	17%
4. オンラインシステムは活用していない	13	8%
総計	155	



Q9. 前問Q8で「4. オンラインシステムは活用していない」を選択した場合の理由【複数選択】

選択肢	回答者数	%
1. 学校側に、オンラインで授業などを配信するシステムや機材が整備されていないため	8	62%
2. 生徒側に、オンラインで授業などを受信するシステムや機材が整備されていないため	12	92%

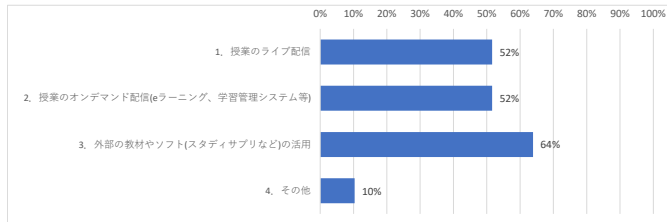
前問Q8「4. オンラインシステムは活用していない」の回答者数 13



Q10. 実施中または整備中の授業のオンライン化の方法【複数選択】

選択肢	回答者数	%
1. 授業のライブ配信	80	52%
2. 授業のオンデマンド配信(eラーニング、学習管理システム等)	80	52%
3. 外部の教材やソフト(スタディサプリなど)の活用	99	64%
4. その他	16	10%

全回答者数 155



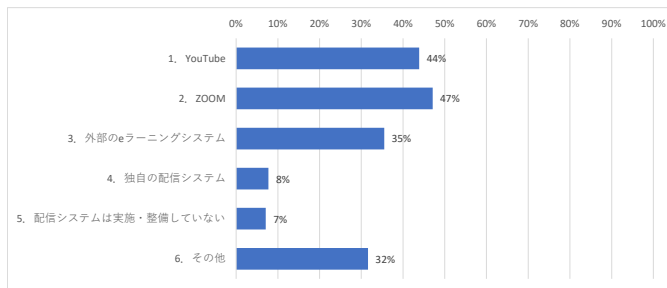
【その他】記載事項

- google
- 動画配信等
- Google Classroomの活用、動画を撮影して配信
- 授業の録画配信
- Googleアプリを検討中
- オンラインによる二者面談や学習支援のための動画配信
- ビデオ撮りした授業の配信
- Googleフォームなどを利用し、動画や教材を配布
- 4月はスタディサプリ、5月から自校独自の授業の配信と双方向のホームルームに切り替えた。
- GoogleClassroomを活用した課題・動画の配信 HPの活用
- Classi、ロイロノート等の活用
- 独自教材のオンデマンド配信が中心
- オンラインアプリを利用しての、課題、ウエブテスト簡易テストの実施、一部動画の配信
- 独自開発のe-learningシステムを使用
- 検討中
- 未実施

Q11. 実施中または整備中の配信システムの名称【複数選択】

選択肢	回答者数	%
1. YouTube	68	44%
2. ZOOM	73	47%
3. 外部のeラーニングシステム	55	35%
4. 独自の配信システム	12	8%
5. 配信システムは実施・整備していない	11	7%
6. その他	49	32%

全回答者数 155

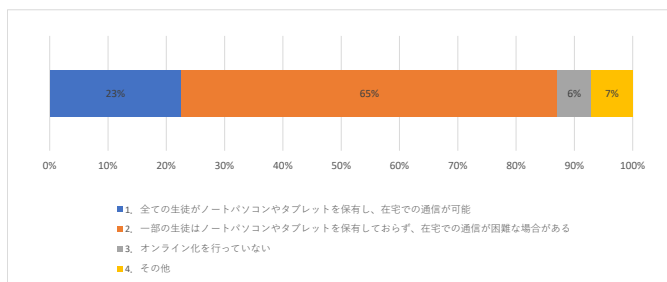


【その他】記載事項（重複削除）

Microsoft Teams
 Microsoft streaming
 Googleの活用
 Google classroom
 Google for education
 Google meet
 ロイロノート
 Classi
 LINE
 学校のHP
 vimeo.com という動画作成会社と契約し配信
 office365
 UCS
 G Suite for Education
 vimeo
 メタモジ
 未実施
 検討中

Q12. 授業のオンライン化に伴う、生徒側の通信環境

選択肢	回答者数	%
1. 全ての生徒がノートパソコンやタブレットを保有し、在宅での通信が可能	35	23%
2. 一部の生徒はノートパソコンやタブレットを保有しておらず、在宅での通信が困難な場合がある	100	65%
3. オンライン化を行っていない	9	6%
4. その他	11	7%
統計	155	

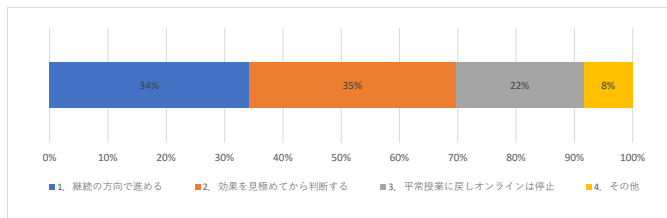


【その他】記載事項

自宅PC、タブレットの他、スマホでの対応を許可している
 パソコンやタブレットまたはスマホを利用
 ほとんどは生徒各自のスマートフォンを使用
 タブレット、パソコンだけでなくスマホ利用を可とすると、殆ど全員通信が可能になっている。
 1. に該当するが、1年生のみタブレットの配布ができていない。
 ネット環境の整備をお願いいた。
 パソコン・タブレット・スマホなどで対応
 スマートフォンを一部利用
 スマートフォンでの対応も一部ある
 1・2年生は入学時にタブレットを購入。3年生は自前のパソコンやタブレットもしくはスマートフォンで対応。
 未実施

Q13. 緊急事態宣言（臨時休校）後のオンライン授業の継続

選択肢	回答者数	%
1. 継続の方向で進める	53	34%
2. 効果を見極めてから判断する	55	35%
3. 平常授業に戻しオンラインは停止	34	22%
4. その他	13	8%
総計	155	

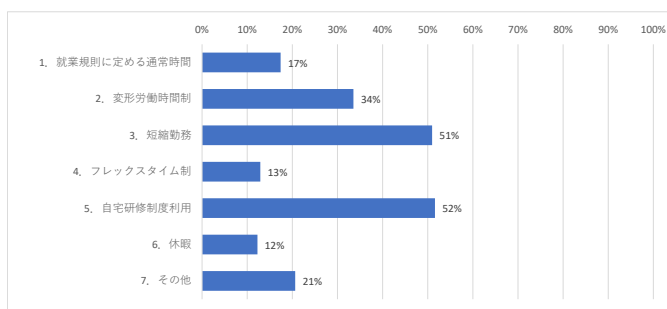


II. 教員の勤務態勢について

II - i 現在(緊急事態宣言の下での)の学校運営状況についてお尋ねします

Q15. 現在の教員の勤務体制について当てはまるものをお答えください【複数選択】

選択肢	回答者数	%
1. 就業規則に定める通常時間	27	17%
2. 変形労働時間制	52	34%
3. 短縮勤務	79	51%
4. フレックスタイム制	20	13%
5. 自宅研修制度利用	80	52%
6. 休暇	19	12%
7. その他	32	21%
全回答者数	155	



【その他】記載事項

活用段階になってから考える

オンライン化を行っていない

平常授業に戻しオンラインは停止予定

整備の検討をする

オンライン授業と平常授業の併用を検討

平常授業に戻すとともに、もともと今年度からタブレット端末を用いたICT授業を導入予定であったため並行して進める。

すでに教室内でオンラインを利用した授業は、展開している。

一律に決められないが、継続できる部分が多くあるので、活用する。

オンライン授業は行わないが、継続してオンライン学習(アダプティブ・ラーニング)は行う。

併用していく

分散登校・分散授業等、平常に時間が確保できれば、オンラインの併用もある

オンライン授業を実施していない

未実施

【その他】記載事項（重複削除）

在宅勤務

会議日以外在宅勤務

週3日は在宅勤務

任意出勤（基本的には在宅勤務）

基本、在宅勤務だが、必要に応じて短縮勤務とフレックスを併用

在宅勤務を基本とし、動画撮影のために必要な場合は出勤できる。

在宅勤務体制（授業時間割に合わせた課題の配信等）

3時間勤務+5時間在宅勤務×4日と終日在宅勤務日1日

仕事内容で異なります。管理職、事務職は通常勤務。教員は、在宅勤務。

管理職が交代で解錠・施錠を担当。その上で、必要に応じて出勤を認めている。在宅勤務も可としている。

2日出勤 3日在宅勤務（朝礼・オンライン授業等）

変形労働時間制に加え緊急事態宣言対応として、業務が無い場合の自宅研修、出勤時間、退勤時間の変更等を許可

指定休の活用

職務専念義務免除（感染症予防）、分散出勤

輪番制の出勤

自宅再開時の授業準備。管理職が交代で出勤。

テレワークの実施

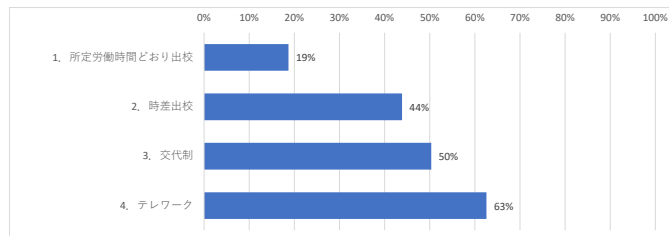
当番制採用による出勤教職員数の抑制

自宅または学校からのオンライン授業

Q16. 教員の勤務はどのように行っていますか【複数選択】

選択肢	回答者数	%
1. 所定労働時間どおり出校	29	19%
2. 時差出校	68	44%
3. 交代制	78	50%
4. テレワーク	97	63%

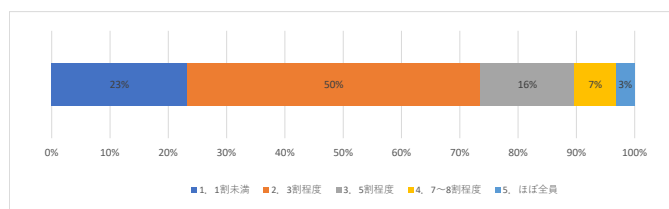
全回答者数 155



Q17. 毎日の程度の教員を出校させていますか

選択肢	回答者数	%
1. 1割未満	36	23%
2. 3割程度	78	50%
3. 5割程度	25	16%
4. 7~8割程度	11	7%
5. ほぼ全員	5	3%

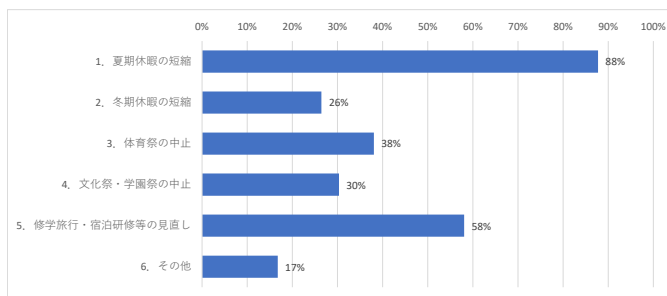
総計 155



Q18. 再開後の教員の勤務カレンダーについてどのような検討をされていますか【複数選択】

選択肢	回答者数	%
1. 夏期休暇の短縮	136	88%
2. 冬期休暇の短縮	41	26%
3. 体育祭の中止	59	38%
4. 文化祭・学園祭の中止	47	30%
5. 修学旅行・宿泊研修等の見直し	90	58%
6. その他	26	17%

全回答者数 155



【その他】記載事項（重複削除）

1年間変形労働時間制の勤務形態の変更、各行事の中止または延期の検討

中間試験の廃止、期末試験後の補習を廃止し平常授業等

全ての行事の見直し

運動会は延期、その他は未定

文化祭や体育祭などは今後実施の有無を検討予定

授業実施形態に合わせることになると思うが、検討中。

変形労働カレンダー（1年単位）における臨時の内容修正の可能性を社労士等と相談中

在宅での勤務を通常勤務とみなす。

秋季休暇の短縮

校外学習等の行事の見直し

特に変更なし

様々な学事日程の変更など

春期休暇の短縮

特に検討していない

諸行事実施の見直し

各種行事を授業に充当

出来るだけ、通常時に戻す

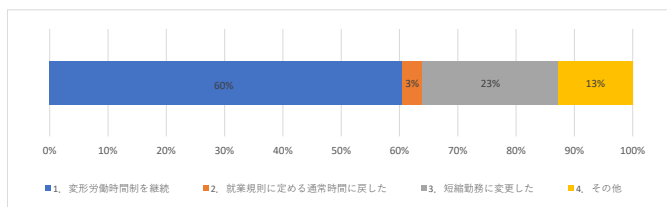
休校の延長日数によって追加措置等を随時検討する。

検討中・未定

Q19. 休校前に変形労働時間制を導入していた学校にお尋ねします

選択肢	回答者数	%
1. 変形労働時間制を継続	52	60%
2. 就業規則に定める通常時間に戻した	3	3%
3. 短縮勤務に変更した	20	23%
4. その他	11	13%

Q19回答者数 86



【その他】記載事項

社会保険労務士や労基と協議して勤務表を訂正する方向で検討中

5/6までの臨時休校が5/31まで延長されている

変形労働時間制の変更

まだ締結できていないので通常時間

見直しは行っていません

検討中

休校前は、通常勤務

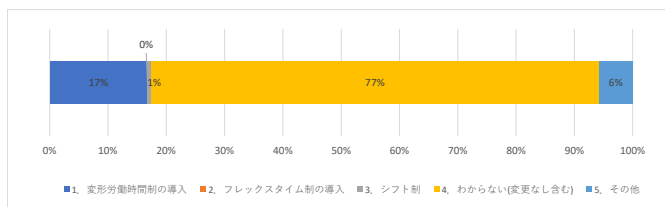
一年間の変形労働時間カレンダーをコロナ特例措置にてカレンダーの変更を行った。

休校継続中

Q20. 新型コロナウイルス収束後に検討される働き方についてお尋ねします

選択肢	回答者数	%
1. 変形労働時間制の導入	26	17%
2. フレックスタイム制の導入	0	0%
3. シフト制	1	1%
4. わからない(変更なし含む)	119	77%
5. その他	9	6%

総計 155



【その他】記載事項

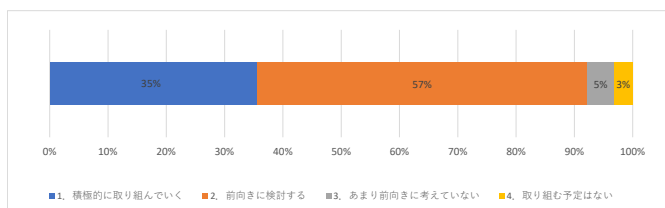
年間の勤務総時数を上回らない範囲で、その都度労働者に協力を仰ぎ、労基署に申請
 変形時間労働制を導入したいが締結できていない
 時間だけでなく、働き方改革については委員会で検討する
 変形労働カレンダー（1年単位）における臨時の内容修正の可能性を社労士等と相談中
 変形労働時間制の継続。
 特に変更なし
 現在は特に無し。通常状態への復帰。
 制度を複合的に導入することを検討している
 固定時間勤務に戻す

III. 緊急事態宣言後の教育態勢・教員の働き方

Q29. EdTech（教育のテクノロジー化）へのシフトについて

選択肢	回答者数	%
1. 積極的に取り組んでいく	55	35%
2. 前向きに検討する	88	57%
3. あまり前向きに考えていない	7	5%
4. 取り組む予定はない	5	3%

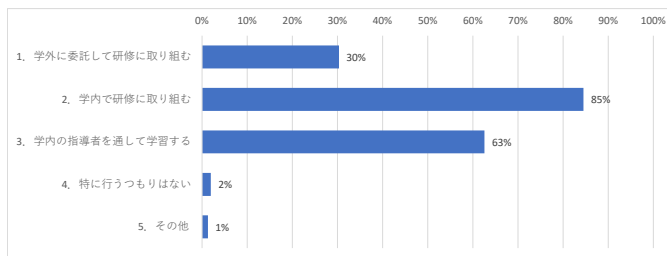
総計 155



Q30. 教員のデジタル教育にどのように取り組みますか【複数選択】

選択肢	回答者数	%
1. 学外に委託して研修に取り組む	47	30%
2. 学内で研修に取り組む	131	85%
3. 学内の指導者を通して学習する	97	63%
4. 特に行うつもりはない	3	2%
5. その他	2	1%

全回答者数 155



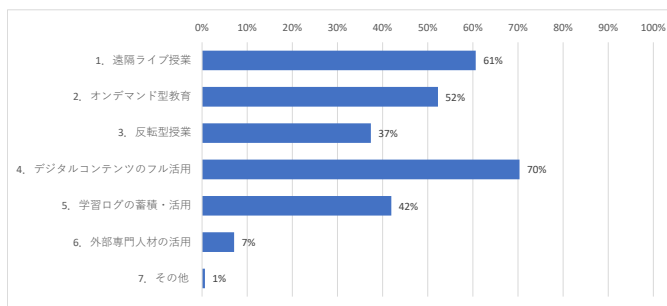
【その他】記載事項

できれば契約業者に講師の派遣をお願いしたいと考えている。
研修の必要性を考慮して計画する。

Q31. これから注力を検討する分野は何でしょうか【複数選択】

選択肢	回答者数	%
1. 遠隔ライブ授業	94	61%
2. オンデマンド型教育	81	52%
3. 反転型授業	58	37%
4. デジタルコンテンツのフル活用	109	70%
5. 学習ログの蓄積・活用	65	42%
6. 外部専門人材の活用	11	7%
7. その他	1	1%

全回答者数 155



【その他】記載事項

総合的に最善の教育の追求

Q32. デジタル講義によって、教室での集合型講義がなくなった場合、教員は、どんな仕事に取り組むべきだと思いますか

(省略。別途、お問合せください。)

Q33. ポストコロナ時代（コロナ終息後）の教育改革として、何が重要になると考えられますか

(省略。別途、お問合せください。)